

平成23年度「教育研究支援プロジェクト経費」成果報告書

プロジェクトチームの代表者 コース等名国際教育コース

氏 名 近 森 憲 助

プロジェクトの名称	海外教員指導者を対象とした研修の計画・実施・評価・フォローアップに関する研究－ケニア初等理数科教員指導者に関する事例－	配 分 予 算 額	910千円
プロジェクトの概要	【途上国の実態に合わせた授業分析・指導能力強化を目指した研修の計画と実施】 ①授業分析および指導助言方法の試行 大学院の講義「国際教育教材開発研究」「国際教育教材開発演習」の中で、昨年度末にケニア初等学校において撮影した算数および理科授業ビデオを活用し、授業分析を行った後、授業分析結果に基づき、改善授業改善案を作成し模擬授業を実施し、試行とした。 ②授業分析および指導助言方法の実践 平成23年11～12月に実施した国別研修ケニア「初等理数科教授法改善」の中で「授業分析」「授業改善方法」の講義・演習中に、①の試行に基づいたプログラムを実施した。 【研修員の獲得した能力の評価方法】 ①大学院の講義「国際教育教材開発研究」「国際教育教材開発演習」の中で、ケニアの理数科授業ビデオの視聴および模擬授業と授業検討会の実施を通じ、授業観察および授業改善能力が向上することが期待される。活動の過程を通じて収集する院生による授業分析記録、改善提案コメント、模擬授業案を分析することを通じ、獲得した能力の評価ルーブリックを作成する。評価の観点として授業分析、改善提案、授業実践を想定し、開発を行う。 ②平成23年11～12月に予定されている国別研修ケニア「初等理数科教授法改善」の中で収集する授業分析記録、改善提案コメント、模擬授業案を開発したルーブリックで評価する。 ③平成24年3月に予定しているケニア国現地調査を通じ、研修員が日本で獲得した能力が現地の教育現場で活用されているのか、プロジェクト関係者へのインタビュー、授業観察、授業研究ワークショップの観察を通じ評価を行った。 【効果的なフォローアップの在り方】 ①現地プロジェクト関係者とのEメールやテレビ会議システムを通じた意見交換を通じ、帰国研修員の活動をフォローし、本年の研修計画作成につなげた。 ②研修中に現地プロジェクト関係者とのEメールやテレビ会議システムを通じた進捗状況報告を実施し、帰国後の活動計画実施への環境整備を実施した。 ③平成24年3月に実施したケニア国現地調査を通じ、研修員の活動計画実施を通じた現地での知見普及を支援した。		
成果の概要	①大学院の講義「国際教育教材開発研究」「国際教育教材開発演習」の中で途上国出身大学院生による授業観察・分析を実施し、活動や生徒の参加の有無を捉え活動の質を考慮しないという特徴を把握することができ、これに対して生徒の理解を深める活動にするにはどのようにするかという問いを用いて分析を深めることができた。また模擬授業において授業中の活動と授業目的との連関を意識させることが授業計画の改善に有効であることがわかった。授業分析の記述や模擬授業をもとに評価ルーブリックを作成した。 ②上記①の成果を踏まえたプログラムを、ケニア研修中の「授業分析」「授業改善方法」の講義・演習中に実施した。「授業分析」ではケニアの理数科授業と日本の小学校の理数科授業を詳細に記録し、生徒の理解を深める活動にするにはどのようにするかという問いに基づいて、その優れた点、課題とそれに対する具体的な助言を考えさせることができた。「授業改善方法」では研修員がケニアのカリキュラム・教科書に基づき授業計画を立案し、模擬授業を行った後、授業検討会を開き、一連の過程を通じて授業改善方法を学んだ。研修開始時および終了時に授業ビデオを用い、その授業の良い点・課題・改善提案を調査票に記入させた。その調査票の記述より授業分析スキル・授業助言スキルの変化をルーブリックによって評価した。その結果研修員の能力には一定の向上が認められた。 ③平成24年3月に実施した調査により、研修員は日本で学んだ手法に忠実に従い、現地パイロット初等学校における現職教員研修の中に授業研究を取り入れるという行動計画を実施した。このことは研修がその目的を達成した証拠の1つとなる。ただ授業検討会の指導・助言に関しては運営を学校側に委譲していることもあり、その質が向上しているかについては判断できなかった。ケニアにおける授業観察より、生徒の思考を深める活動が乏しいことがわかった。今年度の研修における授業分析・模擬授業での着目点とする。		

- (注) 1. 箇条書き等により簡明に記入すること。
 2. 概要については、800字程度にまとめること。
 3. 研究協力者として院生等が参加している場合、院生等の報告書があれば添付すること。
 4. なるべくパソコン等で作成願います。

区 分	品 名 等	規 格 等	数 量	単 価	金 額	備 考
備 品 費				円	円	
小 計					0	
消 耗 品 費	ビデオカメラ	HC-V300M	2	68,880	137,760	
	バッテリー	VW-VBK360-K	2	12,600	25,200	
	デジタルカメラ	CanonPowershotSX230HS	2	29,800	59,600	
	黒トナー	Canon Cartridge 318 Black	1	9,009	18,018	
	ハードディスク	バッファローHD-PXT1.0TU2-BKJ	2	16,150	32,300	
	プリンタインク 黒	CanonBCI19Black	2	1,080	2,160	
	プリンタインク カラー	CanonBCI19Color	2	1,430	2,860	
	ポストイット	強粘着 650-5SSAN	6	945	5,670	
	クリアホルダー		1	72	72	
小 計					283,640	
そ の 他	ケニア出張旅費（石坂）	平成24年3月16日～3月25日	1	314,620	314,620	
	ケニア出張旅費（小澤）	平成24年3月16日～3月25日	1	311,740	311,740	
小 計					626,360	
合 計					910,000	